

⑦ スカラネット入力下書き用紙 5 ページ目

入学年度（入力した入学年月）により選択できる月額が異なります

F-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに教えてください。
 - (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2018年以降入学者はこの欄から選択

[2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額]

区分 月額の種別	大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額以外の月額				5万円				
		4万円	4万円	4万円		4万円	4万円	4万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

第一種奨学金の月額選択

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に教えてください。

貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

最高月額が採用にならなかった場合の第二希望金額を選択

5

なります。
また、専修学校（専門課程）のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしている必要があります。それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は「奨学金案内」の6ページを参照してください。

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2020年4月となります（入学年度によりません）。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます（入学年度によりません）。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上表の最高月額以外の月額から選択してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 6 ページ目

入学年度（入力した入学年月）により選択

2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額

大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円			

2017年度以前入学者は
この欄から選択

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください **「貸与奨学金案内」17ページ参照**

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

返還方式を選択 (2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3) はい いいえ

今までに同学種で第一種を貸与したことがある場合は「はい」

一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学
(半角数字)

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

(注) 加盟等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

再貸与の制度を表示
 同意します

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 (4) はい いいえ

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。
(半角数字)

2017年度以前入学者は、募集要項の選択の欄

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」17ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

第一種奨学金の再貸与を受けたことはい を選択してください。

第一種奨学金の再貸与制度とは？
過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種（大学、短期大学、専修学校等）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくは「奨学金案内」の14ページを参照してください。

F-奨学金貸与奨情報 直上の (3) で「はい」と答えた人に表示されます。

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金を設置した地方公共団体（基金設置団体）から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

金額が異なります

⑦ スカラネット入力下書き用紙 6 ページ目

第二種の月額を選択

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(1)

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

(2) はい いいえ

X 「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

(3) 4万円 2万円 希望しない

(2) (3) は医・歯・薬・獣医学の増額に関する入力項目です。

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

はい いいえ

併用貸与を希望した人に表示されます。
併用貸与については、「奨学金案内」5ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

春の定期採用に申し込む人は、2020年4～9月のいずれかの月を入力してください。次の設問3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2020年4月を入力してください。

2020年4月～9月のいずれかの月を選択

(4) 西暦（半角数字4桁） 年 月

⑦ スカラネット入力下書き用紙 6 ページ目

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ教えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) はい いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は教えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) 利率固定方式 利率見直し方式

**1年生と編入学の人のみ選択
「貸与奨学金案内」10・11ページ参照**

入学した学校
ができません。
特別増額貸
与奨学金

与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、
「いいえ」を選んでください。
編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与
奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択し
て学校へ申し出てください。

なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の
教育ローン」を利用できない人を対象として
おり、第二種奨学金と同様に有利子です。
「奨学金案内」9ページも参照してください。

返済時の利率の算定方法を選択する項目です。
詳しくは「奨学金案内」15ページを参照して
ください。

**第二種奨学金と入学時特別増額奨学金を希望する人
のみ選択「貸与奨学金案内」15ページ参照**

6

⑦ スカラネット入力下書き用紙 7 ページ目

最終学歴や高卒認定試験合格履歴などを偽りなく記入

3/8

G-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字4桁）年 月 日 卒業または退学

直前に卒業または退学した学校の年月及び学校を選択してください。

2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、「国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）又は専修学校の高等課程（修業年限が3年以上のもの）」を含みます。（インターナショナルスクールや在外教育施設等は含まれません）

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

はい いいえ

「はい」と答えた人にお聞きします。

あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁）年 月

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

「いいえ」と答えた人にお聞きします。

あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

高等学校卒業程度認定試験合格者

その他（インターナショナルスクール、在外教育施設等）

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。

あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦（半角数字4桁）年 月

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。

(例)

- ・16歳になる年度：2011年度
- ・18歳になる年度から5年経過
⇒ 2016年4月1日以降
- ・2016年度、2017年度に高等学校卒業程度認定試験受験（不合格）
- ・2018年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度（18歳になる年度）から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたが。

はい いいえ

「その他」と答えた人にお聞きします。

あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁）年 月

C-卒業年の誤りを入力した学年番号は

⑦ スカラネット入力下書き用紙 7 ページ目

これまでに日本学生支援機構奨学金を受けたことがある（受けている）場合は記入

3. あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金（原則、返還不要）を受けていますか。
（現在支給が終了しているものを含む）

はい いいえ

あなたはこれまでに、日本学生支援機構の貸与奨学金（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか。（現在貸与が終了しているものを含む）

はい いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1

半角数字

例	奨学生番号 1	609	04	999999	削除	追加
	奨学生番号 2	616	08	999999	削除	追加
	奨学生番号 3	807	01	999999	削除	追加
	奨学生番号 4	812	02	999999	削除	追加
	奨学生番号 5				削除	追加

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。
日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や
借りられる期間が制限される場合があります。

確認しました

外に、日本学生支援機構の新付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。
C-奨学金申込簿で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。
なお、採用取消となったものは入力しないでください。
高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。
高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。記入を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

同一の学校区分（大学・短期大学・専修学校等）で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 8 ページ目

「貸与奨学金案内」 21ページ～25ページを参照し、保証制度をいずれかで選択

4/8

H-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

- (1) 人的保証
- (2) 機関保証

併願又は併用で申し込み (2/8 画面 **C-奨学金申込情報** にて、(2)、(4)、(5)、(6)、(7) を選択した場合)、かつ 2/8 画面 **F-奨学金貸与額情報** にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります(「人的保証」のボタンは押せません)。また、第二種奨学金の保証制度はこの画面で選択します。

4/8

H-保証制度

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

- (1) 人的保証 (ボタンが押せません)
- (2) 機関保証

所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

- (1) 人的保証
- (2) 機関保証

希望する保証制度を選択してください。なお、今回第一種奨学金の貸与を希望し、かつ 2/8 画面 **F-奨学金貸与額情報** にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります(「人的保証」のボタンは押せません)。「奨学金案内」17ページも参照してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 8 ページ目

自分自身について間違えないように記入

1- あなたの返還誓約書情報・給付誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。

(2) あなたの性別を選択してください。(任意)

(2) ▼

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。

(3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) --

携帯電話の電話番号を記入してください。

(携帯) (半角数字) --

B-誓約欄で入力した姓名が表示されます。

B-誓約欄で入力した生年月日により判定されます。

・あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合や、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、**住民票住所**の入力が必要です。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所 1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所 2」には、**「住所 1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力**してください。

※下記の「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 9・10ページ目

8ページで保証制度を(1) 人的保証を選択した方は、連帯保証人と保証人を2名分を必ず記入

連帯保証人は父母のいずれか

保証人は父母はNG 4親等以内の65歳未満の親族

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制の画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

(あなた(申込者)が未成年の場合) 連帯保証人には親権者(未成年後見人)を選任してください。

(あなた(申込者)が成年の場合) 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入ってください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字(全角漢字)

カナ(全角カナ)

(b) その生年月日 (b) (和暦)(半角数字) 年 月 日生

(c) あなたの関係 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字) -住所検索

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (e) (半角数字) --

(携帯)(半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

人的保証を選択した人は、10ページの「(2)の保証人についても入力してください。」を記入してください。

機関保証を選択した人は、下段の「3. 本人以外の連絡先について」を記入してください。

(2) 保証人について入力してください。

原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。

未成年者等保証能力がない人は認められません。

債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字(全角漢字)

カナ(全角カナ)

(b) その生年月日 (b) (和暦)(半角数字) 年 月 日生

(c) あなたの続柄 (c)

(d) その住所

保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字) -住所検索

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯)(半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ

あなたからみた続柄です。(例) おじ、おば

※以下の場合には、「その他(知人等)」と記入(選択)してください。

- 離婚により親権を失った父母
- 養子縁組により親権を失った本人の養父母
- 配偶者の父母
- 〔父(母)〕や〔その他(4親等以内)〕を選択しないでください。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されます。お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。※⑧ページの「住所の入力例」参照。

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日(B-誓約欄)で入力した生年月日時点での年齢を元に判定を行います。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 10ページ目

8ページで保証制度を（2）機関保証を選択した方は、自分以外の連絡先を記入

3. 本人以外の連絡先について ←

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

	姓	名
(1) 漢字 (全角漢字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カナ (全角カナ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(2) その生年月日 (2) (和暦) (半角数字) ▼ 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3) ▼

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

H-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意！「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自害してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもちに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降、番地等が重複しないように入力してください。

※⑧ページの「住所の入力例」参照。

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

未成年の人は、11ページ「4. 親権者(未成年後見人)について」も記入してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 11 ページ目

スカラネット入力時点で未成年の方は、親権者について必ず記入してください。

未成年の方は、下記「4.親権者（未成年後見人）について」も記入してください。

4. 親権者（未成年後見人）について

あなたは暫約日（B-誓約書で入力した年月日）時点で成年に達していません。
未成年の場合、親権者（未成年後見人）情報を入力してください。
※親権者とは、原則父母です。

(1) 親権者（未成年後見人）1について

- 連帯保証人と親権者（未成年後見人）1が同一である必要があります。
- 親権者（未成年後見人）1には連帯保証人欄の入力内容が自動で登録されます。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字（全角漢字）	<input style="width: 100%;" type="text"/>
カナ（全角カナ）	<input style="width: 100%;" type="text"/>

(b) あなたとの関係

未成年後見人の場合は、その続柄

(b)

(c) その住所

(c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (d) (半角数字)

(d) (半角数字)

(2) 親権者2について入力してください。親権者が1名の場合は (3) に進んでください。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字（全角漢字）	<input style="width: 100%;" type="text"/>
カナ（全角カナ）	<input style="width: 100%;" type="text"/>

(b) あなたとの続柄

(b)

(c) その住所

(c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (d) (半角数字)

(d) (半角数字)

(3) 親権者（未成年後見人）は1名のみで間違いありませんか。

※親権者とは、原則父母です。

(3) Oはい O-いいえ

未成年と判定された場合表示されます。

あなたが成年にも関わらずMが表示される場合や未成年にも関わらずMが表示されない場合

↓

1/8画面B-誓約書で生年月日の入力がお間違っている可能性があります。この場合、「入学案内」41ページ(5)の内容を参照し、入力内容を確認してください。

※親権者とは、民法に定められた親権者のこと、あなたが未成年の場合は、原則父母のことです。未成年後見人とは、親権者がいないとき、または親権を行う者が監理権を有しないときに、法定代理人となる人のことです。父母がいない場合は、「簡易書面同意書」の親権者欄に署名・捺印した人の情報を入力してください。親権者についてわからないことがあれば在学校に確認してください。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で誤った住所が表示された場合、郵便番号が変更しないように入力してください。

※⑧ページの「住所の入力例」参照。

※固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

「親権者2」が未入力状態で「いいえ」を選択すると入力を進めることができません。

親権者が2人いる場合は、親権者1、親権者2の情報を確認・入力し直してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 11 ページ目

6/8

J-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

児童養護施設入所者等 児童自立支援施設入所者等
 児童心理治療施設入所者等 自立援助ホーム入所者等
 里親に養育されている（いた）人 ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなた自身は2018年（1月～12月）の所得により住民税を課税されましたか。
（注）あなた自身の所得の合計額が125万円（額面の収入で200万円程度）を超える場合（2019年1月1日現在で成人している者は所得合計額が35万円（額面の収入で100万円程度）を超える場合）は住民税を課税されます。
（注）「はい」と答えた人は、課税証明書の提出が必要です。

はい いいえ

3. あなたの家族の人数
(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を記入してください。 (1) 人

4. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。
1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を記入してください。 (1) 人

18歳時点であてはまり、「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
（証明書類の例）
施設入所記録簿 / 施設記録簿 / 履歴 / 履歴書

社会的養護を必要する人には場合は はい

※養護の判定様式（「施設者住居・経済証明書」）でも可。

貸与奨学金のみ申し込む場合は選択不要です（ボタンを押すことはできません）。

自分自身が2019年度課税されている場合は はい

申込者と生計が同一である全員が該当します（同居別居を問いません）。独立して別生計にある兄弟姉妹、祖父母などは含めません。

**家族の人数は、生計を同一である人数を記入
独立して生活している兄弟姉妹や祖父母は除く**

※生計維持者については、必ず「貸与奨学金」11～12ページで確認してください。

生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

生計維持者は最大2人です。

生計維持者は、無職でも、離別・死別などでいない場合を除いて原則父母2名

⑦ スカラネット入力下書き用紙 12・13ページ目

The image shows a form for 'Scarane' with various input fields and checkboxes. Red arrows point from explanatory text boxes to specific fields on the form. The explanatory text boxes contain detailed instructions on how to fill out the form, such as providing specific forms for income reporting and how to handle multiple income sources.

必要書類④の収入状況欄・収入計算欄で記入した内容を参考に収入欄を記入

「貸与奨学金案内」35・36ページを参考にしてください。

必要書類④の収入状況欄・収入計算欄で記入した内容を参考に収入欄を記入

「貸与奨学金案内」35・36ページを参考にしてください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 14ページ目

就学者と就学前の兄弟姉妹の人数を記入

5. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の弟妹の人数を合せて記入してください。

(1) 人

(2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

続柄	姓	名	学校設置者	在学している学校	通学別
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

6. その他の家族（「生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族）を記入してください。（あなたを除く）

続柄	姓	名	年齢
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

就学者とは、小・中・高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程）、大学（短期大学・通信制・専攻科・職業技能別科を含む。）、大学院に在学する人のことです。科目履修生、上記以外の別科生、聴講生、研究生、予備校生、一般課程の専修学校生、各種学校生は就学者に該当しません。わからないことがあれば、学校に確認してください。

あなたを除く就学者及び就学前の弟妹について

(1) で記入した人数の内訳を記入

性別、学年別、世帯別、世帯外別、世帯内別、世帯外別のことをしてください。

6. に入力する家族は、
 ページ4, (2)で入力した
 生計維持者①
 を除いた
 同一生計の

**自分・生計維持者・(2)の人以外の
 同一生計者を記入**

⑦ スカラネット入力下書き用紙 14ページ目

年間授業料はこちら

K-特記情報

- あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。
1. 万円
- あなたの家族は母子または父子家庭ですか。
2. はい いいえ
- 家族の中に障害のある人（常に就床を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。
「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。
 人
- 主に生計を維持している人が単身赴任等で別居していますか。
「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。
 万円
- あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人やまたは療養を必要とする人がいますか。
「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。
 万円
- この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。
「はい」と答えた人は、支出の増加または収入の減少があるか選択してください。
「はい」と答えた人で、長期（2年以上）にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。
支出の増加 万円
収入の減少 万円
- 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。
 ▼

2019年度以降の入学者の授業料			
学科	授業料	学科	授業料
写真	111万円	映画	114万円
音楽		放送	
演劇	104万円	美術	110万円
文芸		デザイン	
2018年度以前の入学者の授業料			
全員	102万円		

2. 父母のいずれか1人と18歳未満の子（就学者は18歳以上でも可）の世帯（60歳以上の経済力のない祖父母（所得金額が50万

2. 以降は、必要書類⑥で準備した「Ⅲ.特別控除に関する証明書類」と「貸与奨学金案内」38ページを併せて確認しながら記入

4. 上限は71万円（9万円未満切り上げ）。単身赴任先の住居・光熱・水道・家具・家事用品の領収書のコピーを学校に提出してください。

5. 該当者がいる場合は、医療費等の領収書のコピーを学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 15ページ目

① 銀行等を選択した場合

② 支店を選択してください

③ 2 口座種別(口座)

④ 1 口座名義人(氏名)

① 口座番号

② 支店番号

③ 口座名義人(姓)

④ 口座名義人(氏名)

り付け「通帳などの口座名義人及び口座情報が記載されている部分のコピー」

必要書類③で準備した「学生本人名義の銀行口座の通帳コピー」の情報を間違えないように記入

毎年、口座の記入間違えで、奨学金が振り込まれない事象が起きています。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 16 ページ目

入力項目	入力欄名	値
入社年度	入社年度	2004
入社日	入社日	2005年09月

今回は、定期採用となりますので、基本的には、こちらのページは未記入

ただし、1年以内に大きな家計急変があった場合には、ご相談ください。

スカラネットの下書きはここで終了

手続きのながれ③で準備する必要書類

- ① 【全員】 確認書（同意書）
- ② 【該当者】 成績に関する書類
- ③ 【全員】 学生本人名義の銀行口座の通帳コピー
- ④ 【全員】 収入状況欄・収入計算欄
- ⑤ 【該当者】 収入に関する証明書類
- ⑥ 【該当者】 Ⅲ.特別控除に関する証明書類
- ⑦ 【全員】 スカラネット入力下書き用紙【貸与奨学金のみ申込み用】
- ⑬ 【該当者】 在留資格及び在留期間が明記されている証明書
- ⑭ 【該当者】 施設等在籍証明書等

※書類番号は「手続きのながれ」に記載の必要書類の番号と連動

⑬ 【該当者】 在留資格及び在留期間が明記されている証明書

申込者（学生）本人が外国籍の場合，受給可能な在留資格であることを示すために提出。

- ・ 在留カード（コピー）
- ・ 特別永住者証明書（コピー）
- ・ 住民票の写し（原本）

等，在留資格・在留期間（※）が明記されているもの
（いずれか1点）

※「法廷特別永住者」及び「永住者」については，在留期間が記載された書類の提出は必要ありません。

手続きのながれ③で準備する必要書類

- ① 【全員】 確認書（同意書）
- ② 【該当者】 成績に関する書類
- ③ 【全員】 学生本人名義の銀行口座の通帳コピー
- ④ 【全員】 収入状況欄・収入計算欄
- ⑤ 【該当者】 収入に関する証明書類
- ⑥ 【該当者】 Ⅲ.特別控除に関する証明書類
- ⑦ 【全員】 スカラネット入力下書き用紙【貸与奨学金のみ申込み用】
- ⑬ 【該当者】 在留資格及び在留期間が明記されている証明書
- ⑭ 【該当者】 施設等在籍証明書等

※書類番号は「手続きのながれ」に記載の必要書類の番号と連動

⑭ 【該当者】施設等在籍証明書等

スカラネット下書き用のIIページ「J-あなたの家族情報 I.あなたは社会的養護を必要とする人か」の設問に「はい」と選択した方は、施設に入所していた、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。

証明書類の例

「施設等在籍証明書」（施設長発行）

「児童（里親）委託証明書」（児童相談所発行）

「措置解除決定通知書」（児童相談所発行）等（コピー可）

※JASSO所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可

必要書類の説明は以上です。

日本学生支援機構奨学金の申込方法は、大変複雑ですが、みなさんが奨学金を申込む上で必要な情報のほとんどが、「奨学金案内」に記載されています。

疑問に思うことがあったら、まず、「奨学金案内」を落ち着いて熟読してみてください。きっと、答えはそこにあります。

日芸に入学されたみなさんであれば、きっと、その答えを見つけ出す力を持っています。

なお、今後のコロナ感染拡大の状況によっては、窓口業務も停止し、書類の提出方法は郵送のみとなる可能性はありますが、みなさんが奨学金を申込む機会を一切失うといった不利益なことになる確率は極めて低いと考えます。

日芸は、郵送・メール・電話などで、可能な限り、経済的に修学困難な学生の力になりたいと考えています。

その後のながれを、頻繁に日芸のホームページでご確認いただき、落ち着いて情報を取得するよう、努めてください。